

林の広さは？

13,000m²。テニスコート約 50 面分にあたります。都道予定地約 7700m² については、現時点では、小平市が所有者(株)大日本蚕糸会と協定を結び、管理しています。

子どもが小さいので、自転車もこないし、安心して、土や木ともあそびせてあげられる。

どんな木が生えている？

どんぐりの会と自然観察指導員東京連絡会有志が今年 6 月に行った毎木調査では、この雑木林で 890 本の樹木を確認しました。50 本以上あった種類は、コナラ 156 本、エノキ 103 本、ヒノキ 92 本、エゴノキ 77 本、イヌシデ 71 本、ヤマグワ 63 本。都の環境影響評価書には、玉川上水とこの林で合わせて 481 本の木を廃棄物にすると書かれています。

足が不自由なので、林の土の道がやわらかく歩きたくなる。

雑木林はどんな場所？

小平中央公園の体育館の東側の林のこと。

詳しくは、どんぐりの会のブログ「どんぐり林のこと」へ http://dongurinokai.net/?page_id=1495

どんな生きものがいるの？

玉川上水の緑道が東西に通るそばにあるこの林は、初夏にはオオルリ、キビタキ、センダイムシクイなどの夏鳥、秋にはジョウビタキ、クイタダキ、シロハラなどの冬鳥が立ち寄って休息する中継地になっています。また、夏に 3 年間セミの抜けがら調査をしてみて、この林で 5 種類のセミが生まれ育っていることがわかりました。都内では少なくなっているヒグラシが全体の約 11% を占める、環境の豊かな林です。

自然とふれあい、季節のうつり変わりを楽しんでいます。

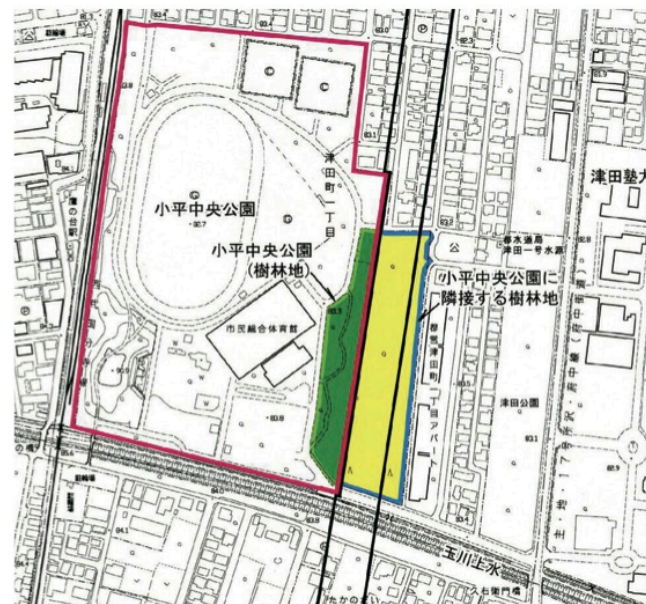
やっぱり木があるところは気持ちが良い。ベンチで友だちと政治の話をする。

地域の中でどのような場所？

日常的ないこいの場として地域住民に愛されています。早朝から夕方まで、散策や休憩、太極拳やゲートゴルフ、虫とりや自然観察、遊び場など、さまざまな層が多様な形で利用しています。毎年、夏休みには連続プレーパーク（NPO 法人こだいら自由遊びの会主催）が開かれ、秋には武蔵野美術大学生による野外アート展の会場となっています。以前は小平市主催のホタルの夕べやツリークライミング教室の会場でした。

いこいの場所で、小平が一番好きな所です。

○内は、2010 年 10 月、都道小平 3・3・8 号線計画を考える会が、小平中央公園を訪れる人たちに対して行った「林のアンケート」の回答です。



この林を南北に横切る東京都の 4 車線道路の計画が進められています。下の地図の平行した 2 本の線の内側がその予定地です（都の環境影響評価書案より）。